



学校だより



青梅市立東小中学校
令和8年度 第2号
令和8年5月29日

小さな一歩が心を育てる季節

中学校副校長

5月も終わりに近づき、あたたかい風が気持ちよく感じられる季節になりました。4月から始まった新しい学校生活にも、みんなが少しずつ慣れてきて、学校全体が落ち着いた雰囲気になってきています。春の球技大会やこころの劇場、中間考査など、5月は慌ただしい日が多かったと思いますが、その中でも一人一人が自分のペースでがんばる姿が見られました。

みんなの心の中には、「心のコップ」と呼ばれる見えない器があります。授業で知ったこと、友達とのやり取り、先生に言われて気付いたことなど、毎日の中で感じたことが、このコップに少しずつたまっていきます。コップが上を向いていると、学んだことや経験が入りやすくなり、みんなの成長の力になります。でも、気持ちが落ち込んでいたり、疲れていたりすると、コップは下を向いてしまい、せっかくの学びが入りにくくなります。

5月の様子を見ていると、時間を守ろうとしたり、身の回りを整えようとしたり、あいさつや態度を大切にしようとしたりする姿が、少しずつ増えてきているように感じます。完璧でなくて大丈夫です。小さな一歩でも続けることで、心のコップは自然と上を向き、授業に集中しやすくなったり、友達の良いところに気付いたり、学校生活や寮生活が少しずつ過ごしやすくなっていきます。

これから、いろいろな行事があります。5月までの学びを振り返りながら、できることから少しずつ準備をしていきましょう。雨の日が多く、気持ちが沈みやすい時期但也有ありますが、そんな時こそ無理をせず、自分のペースで心のコップを上向きにしていけると良いですね。

みんなの成長を、これからも先生たちはずっと応援しています。

小学校 全校遠足 多摩動物公園 迫力あるライオンの姿に感動！

今年度の全校遠足は、日野市にある多摩動物公園へ行ってきました。多摩丘陵の自然を利用したこの動物園はアップダウンの激しい坂道が多くありますが、子供たちはしっかりまとまって歩くことができました。

たくさん見どころのある動物園ですが、多摩動物園と言えばやっぱり「ライオンバス」。事前予約不可の目玉スポットで乗れるかどうかは当日までわかりませんが、運よく希望の時間に全員で乗ることができました。アクリル板越しに間近で見るライオンの姿は、想像以上に大きく迫力満点！放飼場内をぐるぐる回りながら何度も近くで見る機会があり、ライオンの世界を満喫しました。

午後は少人数のグループに分かれて、見たい動物を自分たちで決めて自由に見学しました。とにかくたくさん場所を回るグループもあれば、一つの場所でじっくり観察するグループもありました。こうした場所でしか見ることのできない動物のしぐさに、笑ったり、いやされたり、感動したりしながら、とても充実した一日となりました。

帰りの駅では切符を購入する体験もしました。切符自体見ることの少なくなった時代ですが、生活に必要な知識や経験は一つでも多く積んでおいてほしいと思います。

校外学習にあたっては、学園・寮の先生方にたくさんのご配慮をいただき、様々な準備にご協力くださり、ありがとうございました。朝早く作っていただいたお弁当も美味しくいただきました。今後も子供たちの体験活動が充実するよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

確実に成長するために

小学校

6 生教室では担任の先生から「今できていることをやり続ける まだできていないことをできるように努力する」という話がありました。今よりも後退せず成長していくという意味で、下学年にも通じるところがあります。

これまでの東小学校での生活を通して、あいさつや授業態度など、できるようになったことは継続し、課題となっていることはしっかり意識して頑張っていってほしいと思います。そしてこの学年が終わるころには、こんなにできるようになったことがある！と胸を張って次のステップに行けるようにしていきましょう。

「凡事徹底」

～返事・挨拶・素直に・切り替えスイッチON～

中学校 2 学年

「おはようございます」「こんにちは」という一人一人の声、「はい」という全員の返事がどんどん大きく響くようになってきています。

2 年生最初の学年集会で、「凡事徹底」について皆さんと再確認しました。1 年生の時から意識してきた「**当たり前のことを徹底してやる**」ということです。相手に気持ちよく伝わる「返事」と「挨拶」はコミュニケーションの基本です。また、どんなことも「素直に」受け止め、上手くいかないことがあったときも、上手に「切り替えスイッチ」を“オン”にする力が大切だと話しました。中学校真ん中の学年の存在として、先輩の良いところを吸収しながら、後輩から信頼されることを目指していきましょう。「社会生活に適応するための自立」を目指して「返事・挨拶・素直に・切り替えスイッチON」を意識して頑張っていきましょう。

大きく成長する 1 年に

中学校 1 学年

中学生になり 1 か月が経ちました。大きな声での返事やあいさつ、授業にも前向きに参加する姿勢に「一生懸命に頑張ろう！」という気持ちがよく伝わります。一方で 1 か月が経ち、中学生生活に“慣れ”を感じ始める時期です。初心を忘れずに、今頑張っていることを『**ブレずに続けていく強さ**』を大切にしてください。

確かな自立に向けて

中学校 3 学年

いよいよ最上級生です。メリハリをつけ、下級生の手本となる生活をしましょう。また、進路選択も行っていく 1 年となります。自分のことをよく知り、適切に進路を選択していく必要があります。

卒業・退園後により良い生活が送れるかは、「今、地道な努力ができるか」で決まります。目の前の生活一つ一つを成長の機会としてほしいと思います。

『**確かな自立**』に向けた最後の 1 年です。明るい未来のために一緒に頑張りましょう！